大連市政治・経済情勢週報 (平成 29 年 8 月 31 日~9 月 6 日)

在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所

【政治】

30日: 譚作鈞書記、中国工程院の蹇錫高院士を訪問

30 日、譚作鈞大連市党委書記は「党委連絡服務専門家工作の強化に関する実施意見」の要求に応じて、大連理工大学にいる中国工程院の蹇錫高院士を訪ねた。

(1日付大連日報01面)

31日:市政府、海上船舶管制及び安全生産に関するテーマ会議を開催

9月1日12時に4ヶ月間の休漁期間が終了し、大連市の漁船が大規模に出漁するのに際し、31日、大連市政府は海上船舶管制及び安全生産に関するテーマ会議を開催した。会議は肖盛峰大連市長が主宰し講話を行った。

(1日付大連日報01面)

【経済】

30日:大連市障害者事業工作会議等開催

30 日、大連市障害者事業工作会議及び第 7 回自強モデルと障害者支援先進表彰大会が開催された。同会議は譚作鈞大連市党委書記が主宰し講話を行った。

(31日付大連日報 01面)

30日: 肖盛峰市長、大連市の科学技術イノベーション工作を調査研究

30 日、肖盛峰大連市長は、大連市のイノベーション企業等を訪問し、大連市の科学技術イノベーション工作をテーマに調査研究を行った。その際、科学技術・イノベーションを更に重要な位置付けにして、大連経済をレベルアップする原動力とするよう述べた。

(31 日付大連日報 01 面)

31日:大連国家自主イノベーションモデル区建設指導グループ、会議を召集

31 日、大連国家自主イノベーションモデル区建設指導グループが同建設の進捗状況報告を聴取するため会議を召集した。会議の席上、「瀋陽大連国家自主イノベーションモデル区発展計画綱要(2017-2025)」について研究・討論された。

(1日付大連日報01面)

1日: 肖盛峰市長、海洋環境問題整理工作を調査研究

1日、肖盛峰大連市長は市民の関心度が高い海洋環境問題整理工作の現場を視察した。市長は視察中、習近平総書記の海洋環境工作に関する重要講話の精神を貫徹し、厳格な制度や措置をもって海洋及び海岸線を見守っていくと強調した。

(2日付大連日報01面)

3日:「上海企業大連行」活動、始まる

党中央・国務院の東北振興戦略の全体的な指示を貫徹し、「2017年上海市と大連市対口合作(一対一協力)工作計画」を実行すべく、3日及び4日、「上海企業大連行」に関する一連の経済協力交流活動が行われる。3日には上海・大連対口協力経済貿易商談プロモーション会が開催された。(4日付大連日報01面)

3日:上海・大連対口合作(一対一協力)プロジェクト署名式開催

3 日、大連市において「上海企業大連行」の重要活動として上海・大連対口合作(一対一協力) プロジェクト契約署名式が開催され、合計 57 件のプロジェクト・投資額 1,704 億元について署名 がなされた。同式典には、李希遼寧省党委書記、応勇上海市長、陳求発遼寧省長、翁祖亮上海市党 委常務委員、譚作鈞大連市党委書記等が出席した。

(5日付大連晩報 A02面)

4日:上海・大連対口合作(一対一協力)民営企業発展シンポジウム開催

4日、大連市において上海市工商連と大連工商連の共催で上海・大連対口合作(一対一協力)民営企業発展シンポジウムが開催された。会議には、譚作鈞大連市党委書記及び王志雄上海市政協副主席(同市工商連主席)が出席、講話を行った。(同イベントには上海の民営企業 30 社以上の 100 人以上の関係者が参加した。)

(5日付大連日報01面)

4日: 肖盛峰市長、遼寧沿海経済ベルト建設工作座談会に出席

4日、肖盛峰大連市長は遼寧沿海経済ベルト建設工作座談会に出席し、省内の各沿海都市工作における意見・報告を受けた。市長は座談会の席上、沿海経済ベルト開発開放戦略を長期的に実施し全面的な振興を実現することで、遼寧省に更なる貢献をしていくと述べた。

(5 日付大連晩報 A03 面)

【社会・文化】

2日:漫画家の左手韓、新作「老馬」のファン交流会を開催

2日、大連出身である漫画家の左手韓が新作「老馬」のファン交流会を開催した。同会には多くのファンが訪れた。(左手韓の本名は「韓祖政」だが、普段左手で絵を描くことからこの名前がつけられた。同氏は国際的な賞も受賞している人気の漫画家。)

(4日付半島晨報 A11面)

(注) 8月31日~9月6日の大連日報、半島晨報、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。